

やまがた CS 便り & 学校保健委員会だより

三校（山潟中・山潟小・桜が丘小）合同版

令和6年10月

No.3



第3回「学校運営協議会(三校合同会)」開催！

9月27日（金）、今年度3回目の「学校運営協議会（以下CS）」が桜が丘小学校を会場に開催されました。



中学校区合同の学校保健委員会とは

学校保健委員会とは、子どもたちが心身ともに生涯健康で安全に生活できる力を育むため、また、健康課題の解決のために、子どもたちにかかわる学校・保護者・地域が、共に考え協議する会です。

小中連携により、共通した健康課題について多くの参加者で話し合い解決策を見出したり、9年間を見据えた健康の保持増進を図ったりするために、令和4年度より学校運営協議会にて包括実施しています。

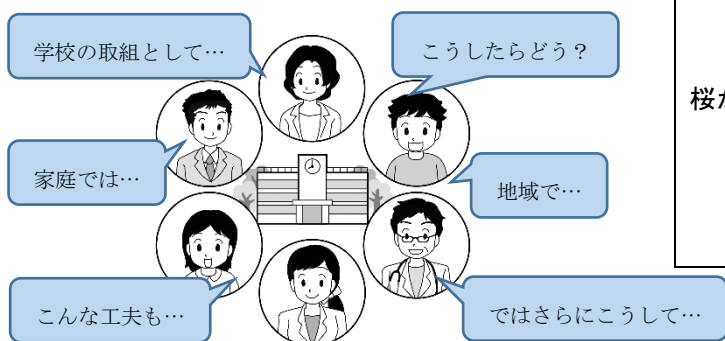
内容

- (1) 山潟地区の子どもたちの歯科保健の実態と健康課題について(健康診断結果報告)
- (2) 歯科保健に関する学校の取組紹介
- (3) 新潟市の地域歯科保健について
山潟地区担当保健師 様
- (4) 協議
『学校・家庭・地域(専門家含む)が、
歯科保健の向上のためにできること』
- (5) 指導・講評
山潟中学校歯科医 様

組織構成メンバー

学校運営協議会委員
学校保健委員会参加者

山潟地区社会福祉協議会会長	豊嶋 直美 様
山潟中学校区青少年育成協議会会長	松田 暢夫 様
山潟地区コミュニティ協議会会長	阿部 博一 様
山潟地区民生児童委員協議会会長	田才 すみ子 様
元小学校校長	阿部 信也 様
山潟中学校元 PTA 会長	小山 進 様
山潟中学校令和6年度 PTA 会長	河内 仁
山潟小学校令和5年度 PTA 代表	大野 久美子 様
桜が丘小学校令和5年度 PTA 代表	樋口 飛鳥 様
山潟中学校歯科医	清水 太郎 様
南地域保健福祉センター 所長	大橋 幸子 様
〃 山潟地区担当保健師	加藤 らら 様
山潟中学校 校長	笹川 元
山潟中学校 教頭	横山 学
山潟中学校 養護教諭	横山 美奈子
山潟小学校 校長	鈴木 勉
山潟小学校 教頭	吉田 先保
山潟小学校 養護教諭	滝川 李保
山潟小学校 栄養教諭	丸山 未湖
桜が丘小学校 校長	中村 一彦
桜が丘小学校 主幹教諭	高橋 健一
桜が丘小学校 養護教諭	須貝 あやめ
桜が丘小学校 栄養主査	田嶋 まり子

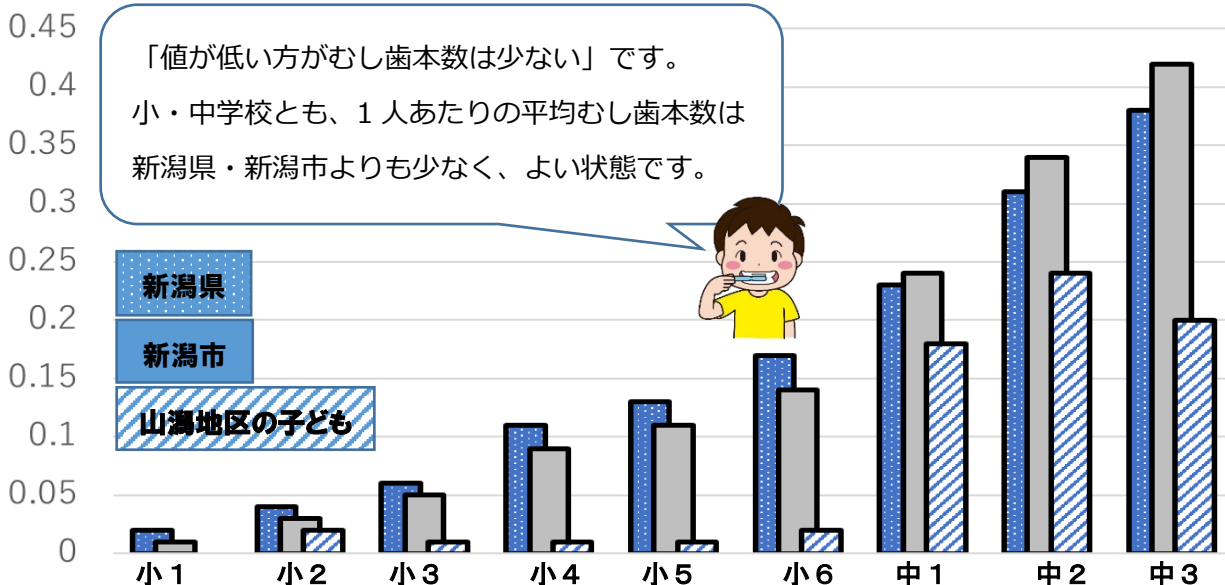


(1) 山潟地区児童・生徒の健康状況(歯科) (R6 健康診断結果より)

新潟市・新潟県平均値出典：令和4年度新潟市学校保健統計

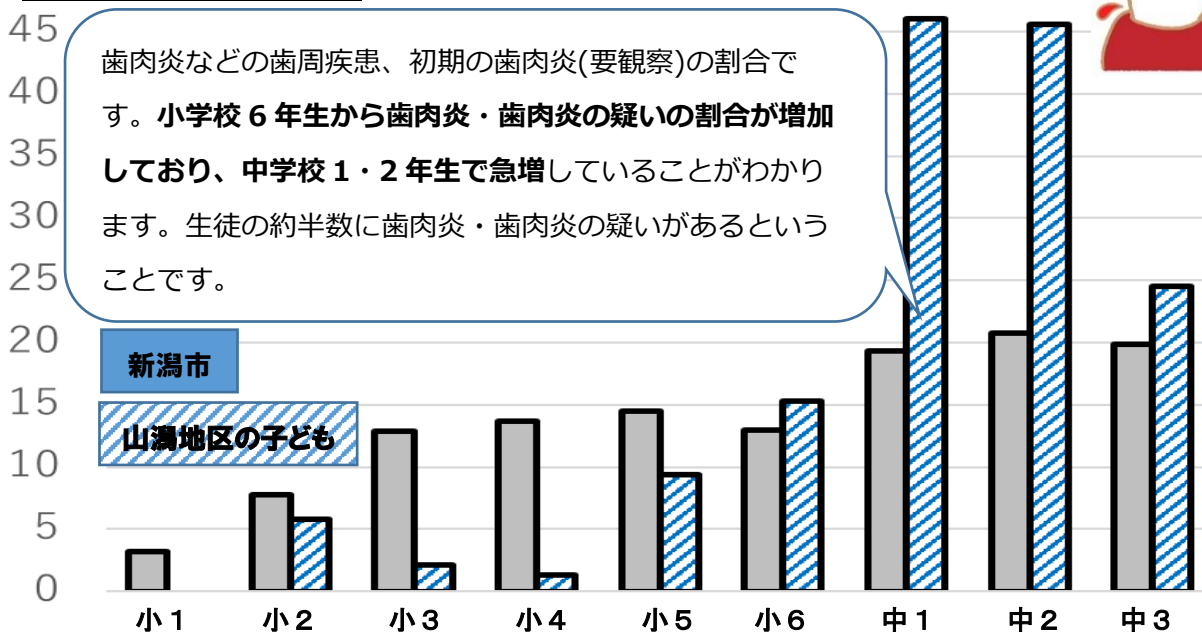
1人平均う歯数(本)

※1人あたりの永久歯のむし歯本数の平均値



歯肉の状態(%)

※歯肉炎・歯肉炎の疑いを合算した割合



歯科健診後の受診状況

(9月18日時点)

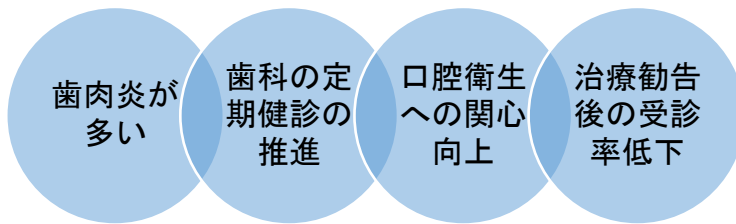
学校	受診率
桜が丘小学校	40.9%
山潟小学校	50.0%
山潟中学校	37.1%

受診率が低い状況です。

いずれの学校でも、受診勧告の再配付を予定しています。

疾病の早期発見・早期治療のために、受診をお願いします。

(2) 山潟地区における歯科保健の課題



協議 『学校・家庭・地域が歯科保健の向上に向けてできること』

参加者が3つのグループに分かれ、それぞれの立場から意見を交流し協議を行いました。

歯科医の清水太郎先生にはスーパーバイザーとして各グループに指導・助言をいただきました。

※以下の『☆』は協議で出された具体的なアイデアです。



歯肉炎が多い実態を
どうにかしたい！



アイデアを
出し合いました！

子どもの口腔衛生への
関心を高めたい！

- ・給食のかみかみメニュー
どうしてかみかみメニューが給食に出るのか子どもたちに知ってほしい！
- ☆ 家庭でも作れるように、むし歯予防のレシピとしてたよりに載せる。
- ☆ 栄養士と相談して、歯科健診の終わった後や11月8日(いい歯の日)に合わせて出す。

- ・自分の歯肉の状態を知っておくことが大切
- ・歯みがきはしていても、歯みがきの仕方がよくないのか？『歯と歯の間をみがくこと』や『歯と歯ぐきの間をみがくこと』など、みがき方の方法やポイントを紹介、共有してはどうか？
- ・中学校でも歯磨きの時間を設けてはどうか？
- ・保護者に歯肉炎の状態や影響を知らせてはどうか。
- ☆ PTA行事で歯肉炎についての講演会の実施。
- ☆ 歯肉炎についての動画配信→映像でわかるとよい。
- ☆ 校区で地域・保護者と連携した取組を行う。
 - ・歯間ブラシ(デンタルフロス)の重要性の啓発
例)1日1回、就寝前は歯間ブラシを使う など
- ☆ 児童生徒から保護者へ、さらに小学生は高学年から他学年に指導を広げていく。
- ・歯科衛生士等を招いて歯みがき教室を実施。
- ・授業参観日を活用し、保護者に指導の内容を知ってもらう。

治療勧告後の歯科受
診率を上げたい！

定期的な歯科健診を
受けてほしい！

- ・歯の定期健診 大人が行くことで子どもも行く！
- ・子ども医療費助成制度を活用して、予防歯科にもつなげる。



(3) 新潟市の地域歯科保健について

新潟市南地域保健福祉センター 所長 大橋 幸子 様・保健師 加藤 らら 様

《新潟市生涯歯科保健計画》

新潟市では、乳幼児期から高齢期までの生涯を通じた歯科保健を計画的に進めるために「新潟市生涯歯科保健計画」を策定している。市民一人一人が歯と口の健康づくりに取り組み、生涯、心身ともに健やかな生活を実現することを理念に掲げ、様々な取組を行っている。

《計画にある指標目標と現状》

わずかだが、目標値よりも多い現状がある。

乳幼児期・園児期・学齢期の指標（一部抜粋）	目標値	R5年度最新値
かかりつけ歯科医を持つ3歳児の割合	48.0%以上	69.1%
12歳児（中学1年生）で歯肉に所見が認められる者の割合	16.6%以下	17.6%
12歳児（中学1年生）で未処置のむし歯がある者の割合	6.7%以下	4.0%

☆ 学齢期の歯科保健は、歯肉炎が課題となっている。

☆ 歯みがきや定期的な歯科受診で予防していく必要がある。

今後も南地域保健福祉センターでは歯と口の健康を保つために小中学校と連携していきます。



(4) 指導・講評 歯科医 清水 太郎 先生より

- 今後の課題として、歯肉炎の増加傾向への取組がポイントになります。歯肉炎が具体的にどんな症状かまだ知識が不十分だと思います。学校や行政、家庭、歯科医が三位一体で取り組み、児童生徒に「気づき」から「行動」へと移るきっかけを提供するべきであろうと考えます。
- 新潟県の歯科保健に関するR4データをみると保護者への講演会・講習会実施率が極端に低いです。（小学校7%、中学校4%）子どもたちの歯の健康を守っていくためには、保護者を巻き込んで地道に継続して訴えていくべきであろうと考えます。
- 歯列不正（歯並びの悪さ）は歯を磨きにくくする原因の一つです。現代の子どもは顎や顔が小さいことが多く、それが影響して歯列不正となっていることもあります。気になる人は、かかりつけの歯科医に相談し、歯医者に行くきっかけになればと思います。



歯は一生もの！



小学生・中学生の時期は、生涯に渡る健康づくりの基礎をつくるとても大切な時期です。子どもを中心に、家族みんなでお口の健康を見直してみませんか？

子どもたちが健やかに成長することができるよう
今後ご協力をお願いいたします。

